

人は理不尽な経験乗り越えることで強くなる

校長 升田 重樹

早いもので、3年生にとっては3月1日の卒業式まであとわずかとなりました。3年生にかぎらず、この1年間は生徒の皆さんにとって、常に不安と隣りあわせの年だったのではないのでしょうか。今は「あのとき感染症が流行らなければ・・・」「この先どうなる・・・」と誰もが考えたくなくなってしまうのは仕方のないことでしょう。しかし、悩んでいるのも過去は変わらないし、未来のことは誰にとってもわからないので、考え続ければ頭も体も疲れきってしまいます。

昨年12月の全校集会で私は「心を鍛え強くする」ということを題材に、生徒の皆さんに次のようなことを話しました。

「筋肉を強化するには、体に負荷をかけなければなりません。重い物をもてば腕の筋力は強くなり、もたないでいれば衰えます。心も同じです。負荷をかければかけるほど心は強くなり、厳しさや苦しさにも耐えられるようになっていくのではないのでしょうか。そしてそれが自信になります。自信というものは、経験からしか育まれません。成功と失敗の経験とを考えてみましょう。私は人生55年間生きてきましたが、失敗経験が圧倒的に多いです。公立学校の教員になる試験にも苦戦して4回目のチャレンジでやっと合格しました。今ではいい経験だったと思えますが、その当時は辛い思いの方が圧倒的でした。失敗の中から学ぶことは想像以上に多いです。人は自分の弱さにもがくことで強くなるのではないのでしょうか。人間が成長していく上でとても大切なことだと考えています。」

これから夢や希望を持って高校生活から巣立っていく生徒の皆さんに、あえて厳しいことを言います。卒業をして世の中に出てみるとわかりますが、世の中には決して公正さや公平さが常にあるわけではありません。フェアではないこともたくさんあります。



自分の理屈が通らないどころか、通らないほうがむしろ普通だと思わなければならない場面もあります。世の中には理不尽なことがたくさんあるということです。だからといって、理不尽な体験をすることは無駄ではありません。それどころか確実に自分を鍛えて強くもしてくれます。もし自分が理不尽な状況におかれていることになっても簡単にへこたれてはいけません。その壁を乗り越えたとき、人は必ず成長しているものです。

「今年は時間が無駄になってしまった」「楽しみにしていた行事が中止になり、最悪だ」「将来にこの1年が影響するんじゃないだろうか」などと考える人もいることでしょう。でもこれも人生のひとつの壁です。人生は辛いときや、悲しいときばかりではありません。仲間とともに耐え忍び乗り越えた先に未来がある。私はそう信じています。



最後まで気を抜かず！

報道等でご存知とは思いますが、新型コロナウイルス感染症について、旭川市での発症者は少なくなってきました。しかしながら、旭川市はもとより、上川管内においても感染の種火はくすぶっており、油断して感染対策を疎かにすると一気に拡大してしまうことも懸念されます。

様々な情報が流布し、以前よりは新型コロナウイルス感染症に関する理解も進んだと思いますが、それでも確実な感染防止策は従前通り、マスク着用・手洗い等の徹底、適宜の空気入れ替え、適度な距離の確保等です。最後まで気を抜かず、年度末まで乗り切りましょう！



2年生就職進学体験発表会

2月10日(水)の3～4校時、本校視聴覚教室を会場として2年生就職進学体験発表会を行いました。いよいよ来年度進路決定を控える2年生を対象として、今後の学校生活や進路活動に向けての意識高揚を図るために、今年度進路を決定した生徒の中から進学予定者2名、就職予定者2名、そして3年生の担任のが、2年生全員の前で体験発表をしました。

苦労した話や今からやらなければいけないことなど、実のある話でした。こうした取り組みを契機に少しずつ進路意識を高揚させ、今何をすべきかをしっかり見据えて行動に繋げてくれると期待しています。実際、発表を聞いた2年生は、間近に迫ってくる進路の決定時期に向けて、様々な準備が必要だということを実感として捉えたようで、真剣なまなざしで取り組んでいました。

もう既に理解してと思っていますが、進路実現は毎日の積み重ねをしていくことが非常に重要なことです。学習や部活動はもちろん、学校生活全般において、様々なことに全力で取り組んでみてください。今から始める人が最終的には自己実現を果たせると確信します。



学校評価に係るアンケート結果について

保護者の皆様におかれましては先日学校評価に係るアンケートにご協力くださり、誠にありがとうございました。

まず生徒アンケートの方ですが、「学校生活に満足している」という項目において、肯定的にとらえている生徒の割合が減少しています（4点満点で2.87（昨年度より0.35下降））また、アンケート全体の指数も昨年度よりもダウンしました（2.87（昨年度より0.33下降））これは4点満点をつけた生徒が大幅に減り、3点（概ね十分）と2点（不十分）という評価が増えたためと思われます。

保護者アンケートについても、「自分の子どもが美瑛高校に入って良かった」という項目においても減少してしまいました。（4点満点で3.16（昨年度よりも0.29下降））また、アンケート全体の指数も減少してしまいました。保護者の方々からは、「学校の活動の様子が見えない」という意見が散見されており、新型コロナウイルス感染症の影響により、行事等の対外的イベントの減少が大きく影響していると思われます。いずれにせよ、次年度に向けて、改善と充実を重ねて参りますので、今後とも本校への変わらぬご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。なお、これらの結果は近日中に学校ホームページにもアップロードします。

(<http://www.biei.hokkaido-c.ed.jp/>)

保護者各位

早いもので、今年度も残すところあと1ヶ月です。新型コロナウイルス感染症が蔓延し、美高祭等の学校行事やヘルシーマラソンボランティアのような美瑛町との関わりの深いイベントもほとんどなくここまでできてしまっています。とはいえ、あと1ヶ月強で令和2年度も終了し、次年度に向けた取り組みを開始させていく必要性が出てきます。

また、新型コロナウイルス感染症対策も継続が必要です。いつまでこのような状況が続くのか、不安もあるかとは思いますが、先が見えない状況だからこそ、今自分たちができることをしっかり取り組み、お子さんたち自身が自分で考え、主体的に行動できるよう支援して参ります。保護者の皆様におかれましては、本校の教育活動に対するますますのご理解とご協力を賜ればと思います。

